

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	2トン回転式塵芥収集車購入事 業	有田川町	2,000,000	2,000,000	総事業費 5,499,491
2	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	バックホー購入事業	有田川町	2,000,000	2,000,000	総事業費 3,132,000

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称							
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	2トン回転式塵芥収集車購入事業							
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		有田川町							
交付金事業実施場所		有田川町大字下津野2018-4							
交付金事業の概要		2トン回転式塵芥収集車1台購入。 現在使用している2トン回転式塵芥収集車が老朽化しているため、円滑にゴミ収集等を行い生活環境保全に資することを目的に、2トン回転式塵芥収集車1台の購入（買換）を行いました。							
総事業費		5,499,491	<table border="1"> <tr> <td>交付金充当額</td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td>うち文部科学省分</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち経済産業省分</td> <td>2,000,000</td> </tr> </table>	交付金充当額	2,000,000	うち文部科学省分	0	うち経済産業省分	2,000,000
交付金充当額	2,000,000								
うち文部科学省分	0								
うち経済産業省分	2,000,000								
交付金事業の成果目標		現在、有田川町では8台の塵芥収集車が稼働し、年間5143トンの塵芥等を収集しています。 今年度も収集量において、同水準以上の効率を目指すとともに、安全に塵芥収集等の業務を行うことで、住民の生活環境保全を図っていきます。							
交付金事業の成果指標		成果目標を行うためには、同水準以上の効率で塵芥収集業務を無事故で行います。							
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により、平成29年12月5日に無事納車されました。</p> <p>その後、老朽化していた2トン回転式塵芥収集車に代わり稼働し、今年度も旧金屋町エリア、年間約900トンの塵芥等を滞りなく収集しています。回収量は例年どおりであり、住民の生活環境保全に資することができています。全町的にも例年通り約5200トンの塵芥収集を行うことができています。</p> <p>今後も、業務を滞りなく遂行し当町が以前より進めています「エコのまちづくり」をPRするとともに、電源立地地域対策交付金を財源として、当事業を行った旨を住民に周知し、双方の理解促進を図っていく予定です。</p>							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
物品購入	指名競争入札	三恵自動車株式会社	5,499,491
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	バックホー購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		有田川町		
交付金事業実施場所		有田川町大字清水387-1		
交付金事業の概要		バックホー購入1台。 現在使用しているバックホーが老朽化しているため、円滑に道路保全をし、交通の確保に資する等、多目的利用のためにバックホー1台の購入（買換）を行いました。		
総事業費	3,132,000	交付金充当額	2,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	2,000,000	
交付金事業の成果目標		和歌山県は台風の上陸数が全国有数の県であり、台風等の災害が起因となり土砂崩れ等が発生することが多々あります。特に清水地域では森林面積が広く、その影響を受けやすい地域でもあります。土砂崩れは地域の集落を孤立させ、住民の交通アクセスの大きな妨げになりうるため、バックホーの買換を行い緊急時にも円滑に交通の確保を図ることを目的とします。 また、平常時から清水地域の広範囲において、道路保全(土砂の撤去等)を行うことを目的とします。		
交付金事業の成果指標		上記の成果目標を達成するために、昨年度の平常時の道路保全(50箇所・3000m)と同水準以上を達成します。また、災害時等に土砂崩れが発生した場合、速やかに交通の確保に資するものとします。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、平成29年10月27日に無事納車されました。 今年度は10月中旬の台風の接近により、道路斜面崩壊や倒木・道路排水施設の土砂埋設等が頻繁し、5箇所の崩壊土砂や埋設土砂の撤去を行い、交通の確保や道路排水の回復等を達成することができました。又、平常時の道路保全についても、30箇所・約2000mの道路路面清掃や道路排水施設の清掃等の維持整備を行うことができています。当事業実施前（納車前）までは既存のバックホーを使用し、25箇所1500mの道路保全を行っており、例年以上の水準で、かつ無事故で行うことができています。 今後も、災害時における道路の交通確保及び道路維持管理に役立て、住民生活の利便性の維持向上に努めます。		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
物品購入	指名競争入札	コマツ建機販売株式会社 和歌山支店	3,132,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。